『アルプラクラス』・『アリッツ』

アルミ電動シャッター本体　取付説明書

⚠ 安全にお使いいただくために

●本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため、次のような絵表示をしています。

⚠注意	取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
お願い	「必ず行っていただくこと」を示しています。

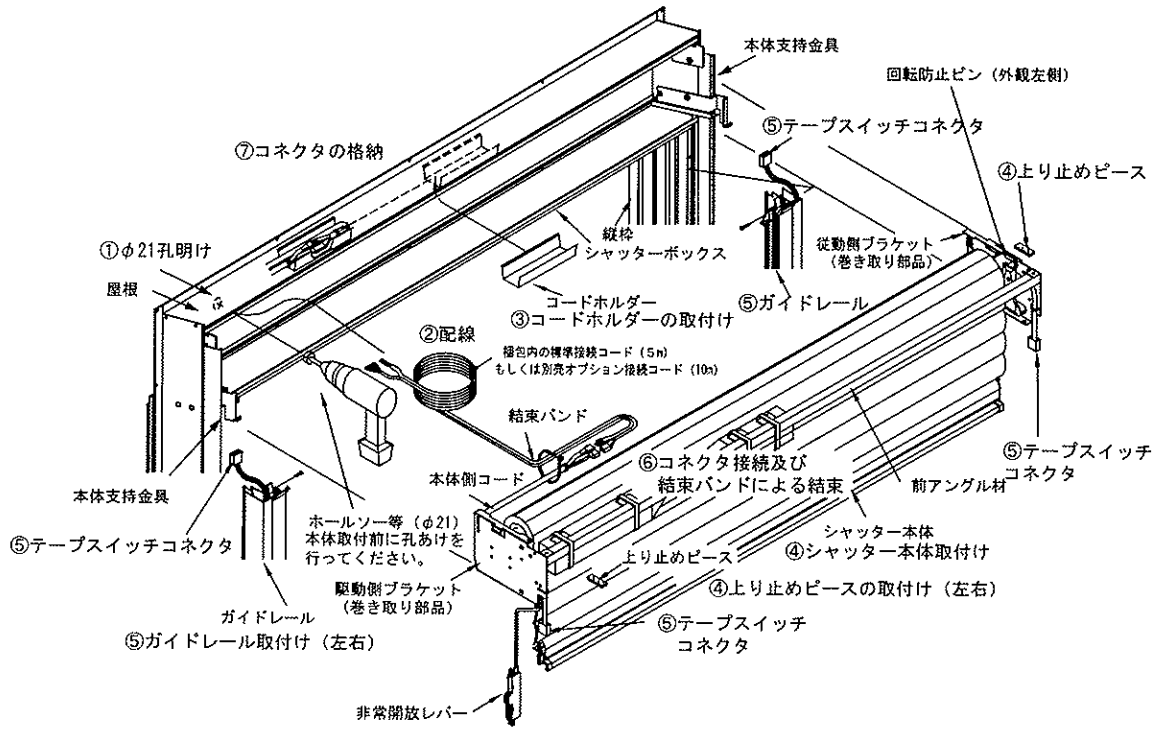
●本製品の明細は以下の通りです。

シャッター本体ｘ1、操作スイッチｘ1、化粧プレートｘ1、標準接続コード（電源線5mｘ1、信号線5mｘ1）取付部品セット（コードホルダー　ｘ1、上り止めピースｘ2個、結束バンドｘ2）電気工事説明書ｘ1、取扱説明書ｘ1、シャッター本体取付説明書ｘ1

●その他の梱包

ガイドレール、ボックスカバー、枠、障子、網戸、赤外線リモコン増設ユニット（別売オプション）タイマーコントローラー（別売りオプション）、接続コード10m（別売オプション）

取付け手順概要（各手順の詳細説明は別途）



①シャッターボックス内の仕上材（MDF）への孔あけ（φ21）
②接続コードの配線（接続コードは電源線と信号線の２本コードを配線します。）
③コードホルダーの取付け
④アルミ電動シャッター本体の取付け及び上り止めピースの取付け
⑤ガイドレール（注：別売、別梱包）の取付け及びテープスイッチコネクタの接続
⑥接続コードと本体側コードのコネクタ接続及び結束
⑦コネクタ部分のコードホルダーへの格納

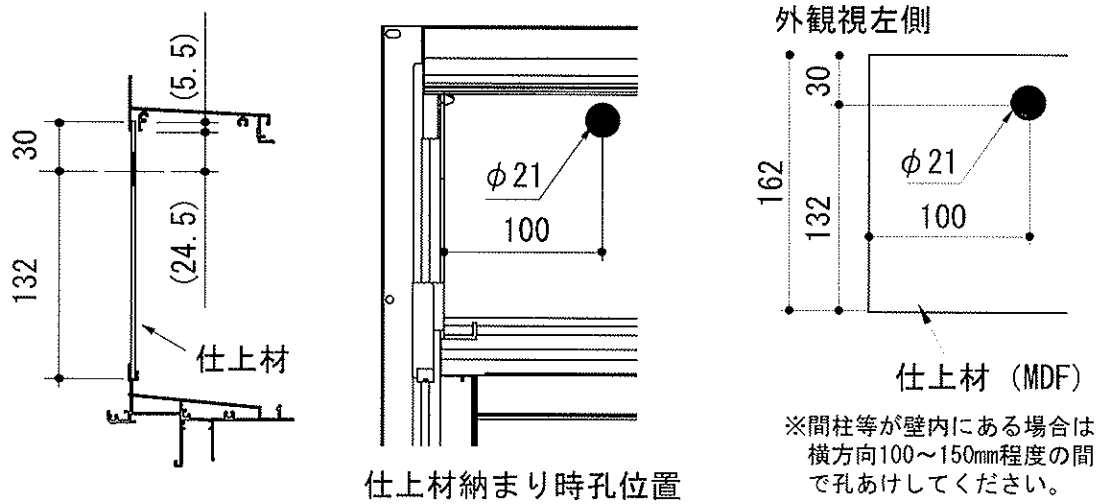
お願い 各手順の詳細説明を必ずご確認の上作業してください。

お願い 別売オプションの接続コード10mをご使用になる場合は、シャッター本体取付け前にご用意ください。

⚠注意 不具合の原因になりますので接続コード（信号線側）は継ぎ足さないでください。

手順１：シャッターボックス内の仕上材（MDF）への孔あけ

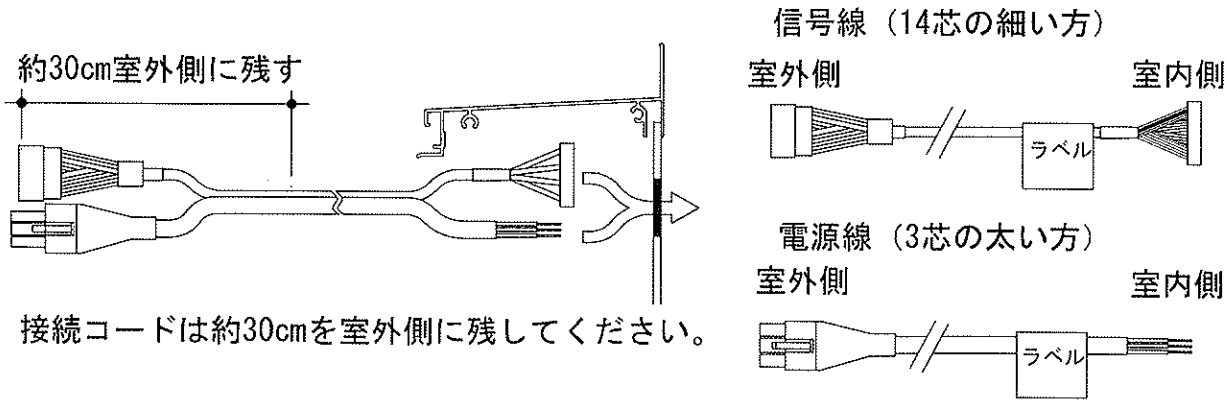
シャッターボックス内の仕上材に、下図に示す位置φ21の孔をあけてください。



お願い 孔あけはホールソー等を使用してきれいにあけてください。
きれいな丸円があかない工具での孔あけはお止めください。

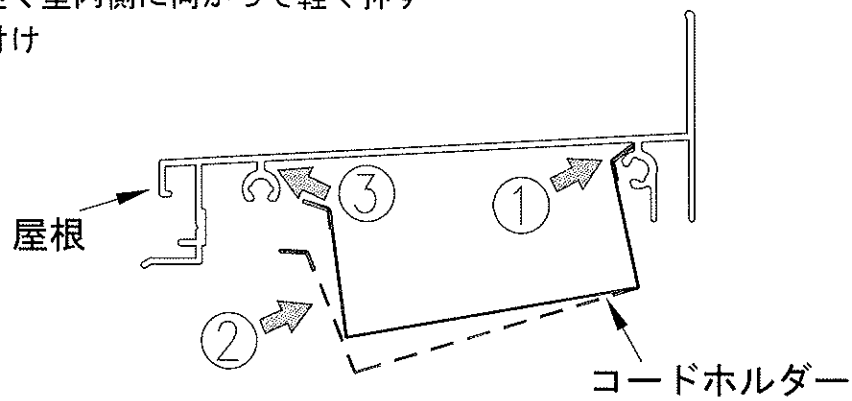
手順２：接続コードの配線（電源線と信号線の配線）

手順１であけた孔に、接続コードを室外側から室内側に向かってコネクタ部分から孔に挿入していきます。

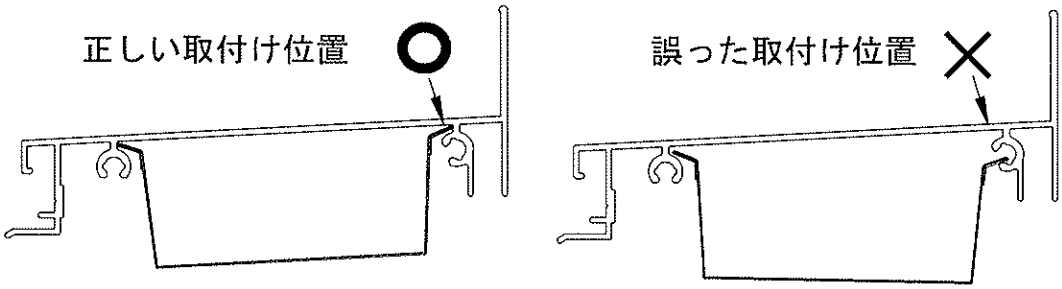


手順３：コードホルダーの取付け

①奥のつめを屋根にセット
②コードホルダーを指で軽く室内側に向かって軽く押す
③手前のつめを屋根に取付け

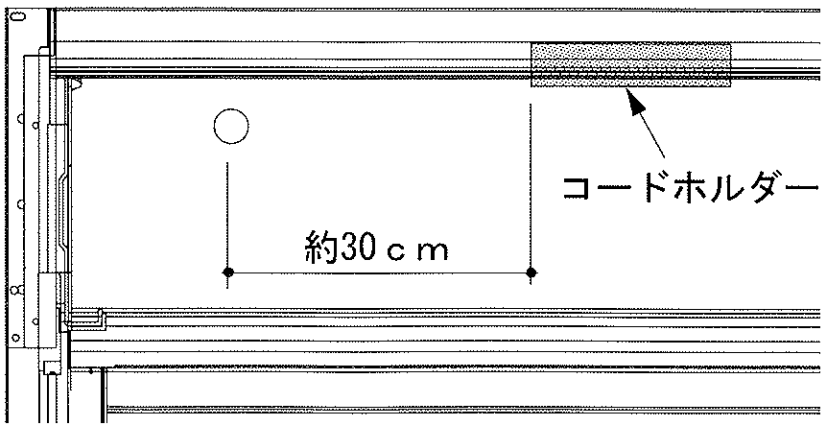


⚠注意 コードホルダーの奥のつめは正しい位置に取付けしてください。（下図）
誤った位置に取り付けられますと、コードホルダーが脱落し、不具合の原因となります。



嵌め合わせが弱い時は、コードホルダーを手で広げてください。

取付け後、コードホルダーをスライドさせて、接続コードの通し孔から約30cmのところに取付けしておくと、後の作業がしやすいです。



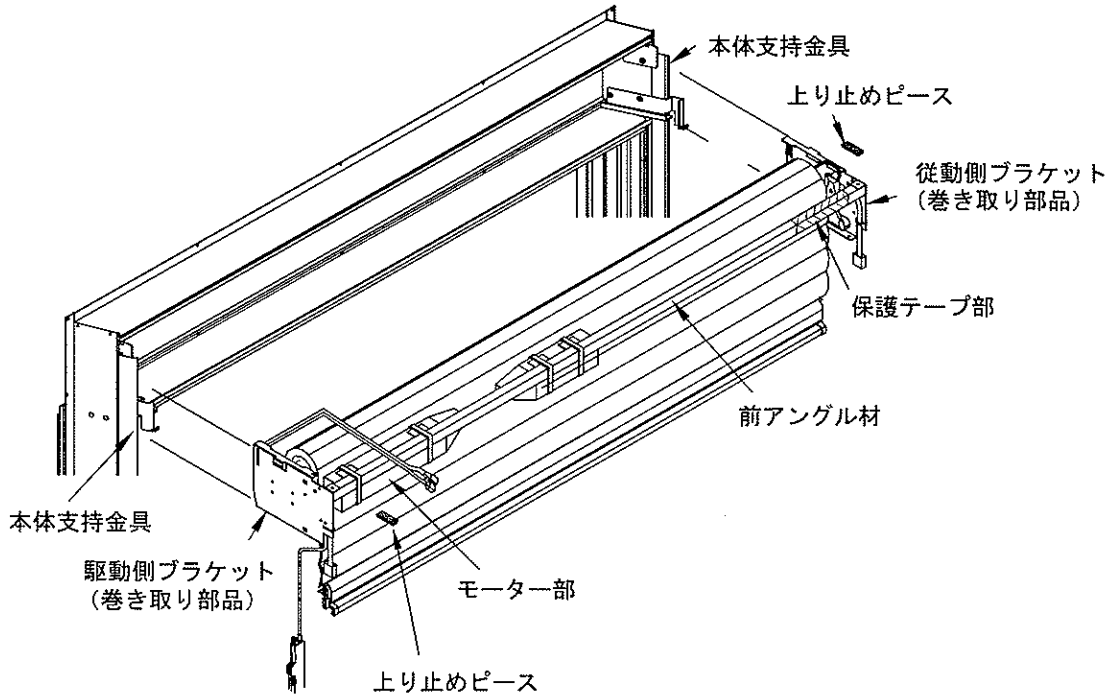
手順４：アルミ電動シャッター本体の取付け及び上り止めピースの取付け

⚠注意 開梱作業及び取付け作業は、必ず2人以上で行ってください。

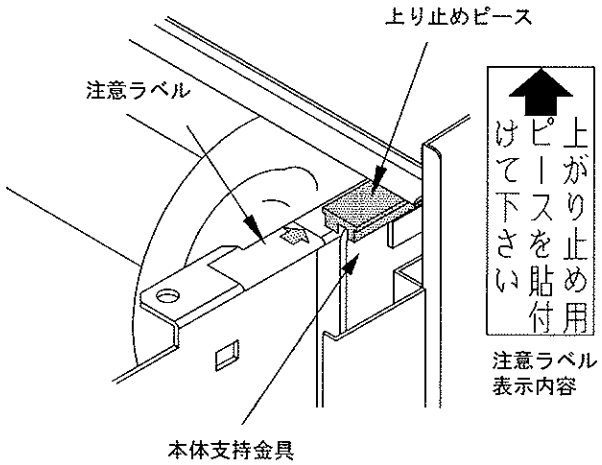
シャッター本体の前アングル材の両端部を持ち、開梱作業及び取付け作業を行います。

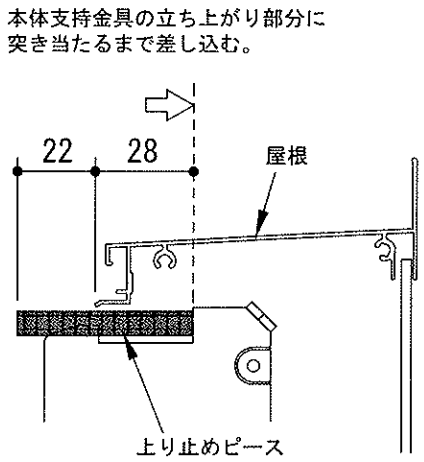
（前アングル材は必ず保護テープ部とモーター部のみを持ってください。中央部側を持つとアングル材が変形します。）

下図の様に左・右のブラケットを、それぞれ左・右の本体支持金具へ差込みます。

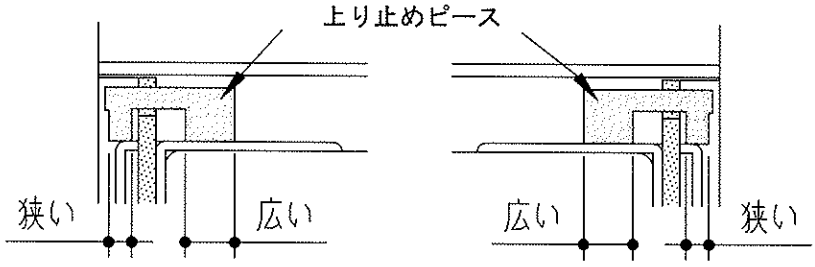


本体取付け後、上り止めピースを左右巻き取り部品と屋根との隙間に取付けます。
上り止めピースの離型紙をはがし、溝が本体支持金具をまたぐようにして、奥に突き当たるまで差し込みます。
（目安として屋根の先端部から上り止めピースの先端まで22mm）





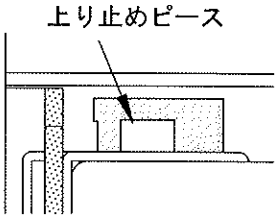
○ 上り止めピースの溝が本体支持金具をまたいでいる。



（外観左）　　（外観右）

向きに注意してください

✕ 上り止めピースの溝が本体支持金具をまたいでいない。

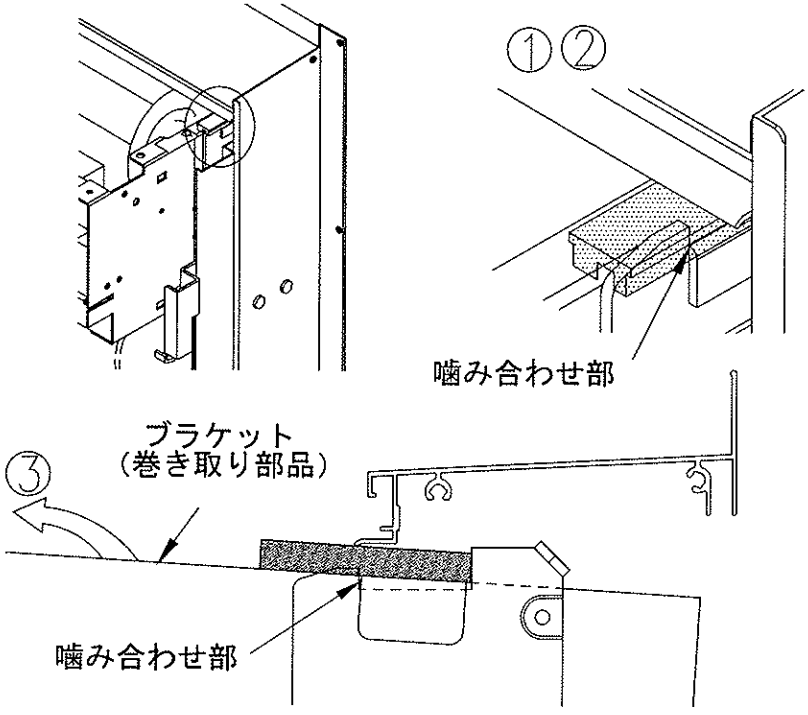


お願い　本体取付け後に以下の確認を必ず行ってください。（下図）

①本体支持金具の上端切り欠き部とブラケットの金具上端突起部が噛み合っていること。

②上り止めピースが本体支持金具をまたいで、奥まで確実に差し込まれていること。

③ブラケット（巻取り部品）の前方部分を持ってシャッター本体を持ち上げて外そうとしても、本体支持金具との噛み合わせ部分を乗り越えられずに外せないこと。



手順５：ガイドレールの取付け（注：別売り・別梱包）及びテープスイッチコネクタの接続

◪ 取付概要

左右のガイドレールを添え付けのネジにて縦枠に固定します。

取付け後コネクタ
接続してください。

ガイドレール上端から
コネクタが出ている事
を確認してください。

取付け後コネクタ
接続してください。

タッピンネジ

非常開放レバー

縦枠

ガイドレール上端から
コネクタが出ている事
を確認してください。

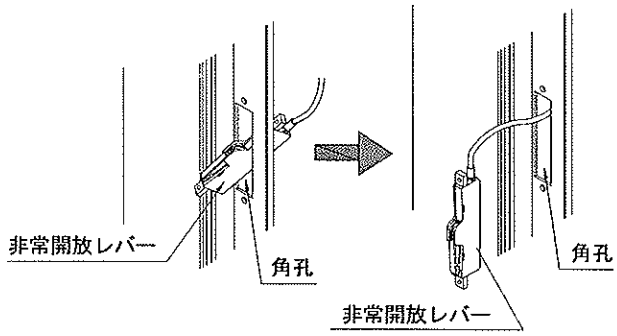
ガイドレール

ガイドレール

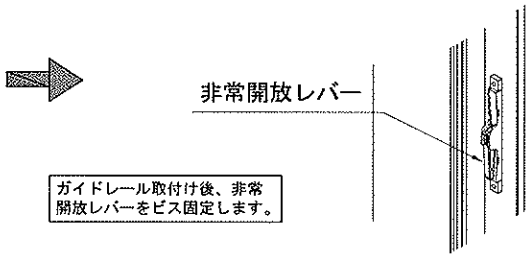
1 非常開放レバーの仮固定

外観左側のガイドレールを取付ける前に、非常開放レバーを下図のように仮固定します。

角孔から非常開放レバーを通します。



非常開放レバーを角孔に嵌め込みます。

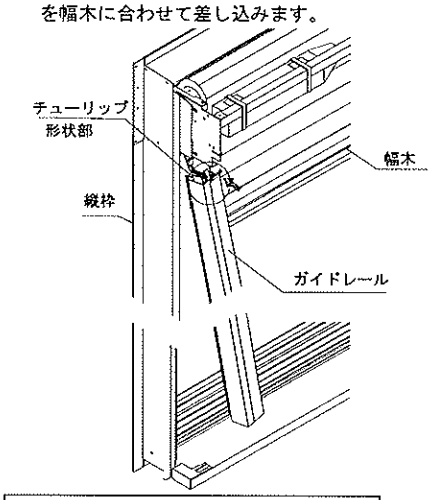


ガイドレール取付け後、非常開放レバーをビス固定します。

2 ガイドレール取付方法

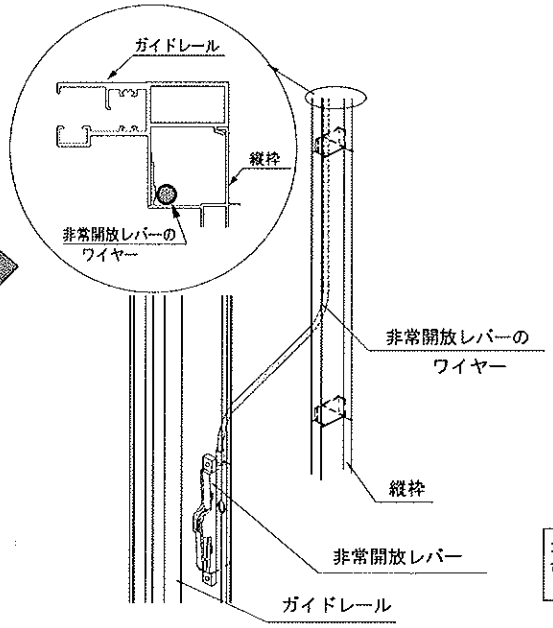
下図①、②、③の順にガイドレールを立て込みます。

①ガイドレール上部（チューリップ形状部）を幅木に合わせて差し込みます。

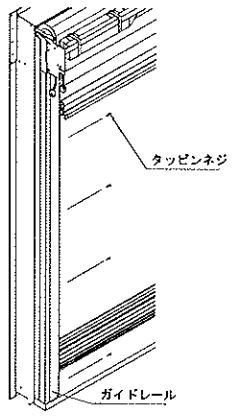


ガイドレールを縦枠に嵌め合わせる際に、下枠部を傷付けない様に取付けてください。

②非常開放レバーのワイヤーを縦枠の図示の部分に添わせてください。

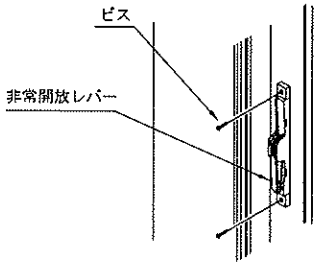


③ガイドレールを縦枠に嵌め合わせ、ビスで固定します。



ガイドレールと縦枠が完全に嵌め合わされていることを確認してからビスで固定してください。

3 非常開放レバーのビス止め

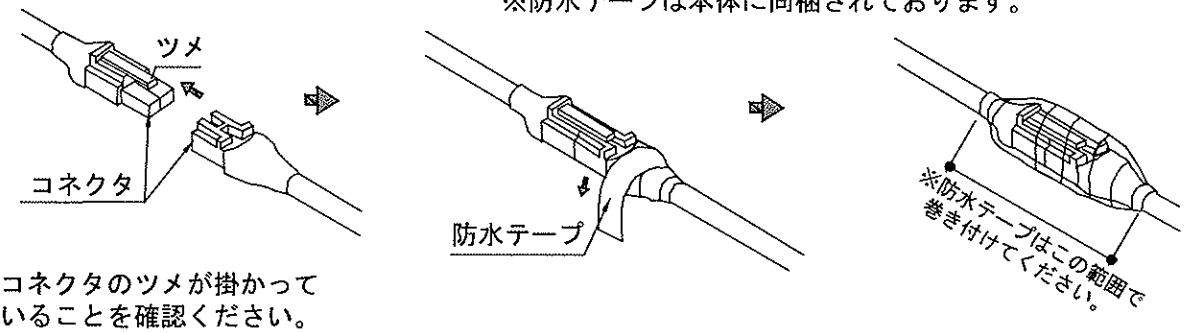


非常開放レバーをビスで
固定してください。

④テープスイッチコネクタの接続

下図のようにコネクタを接続し、付属の防水テープをコネクタに巻いてください。

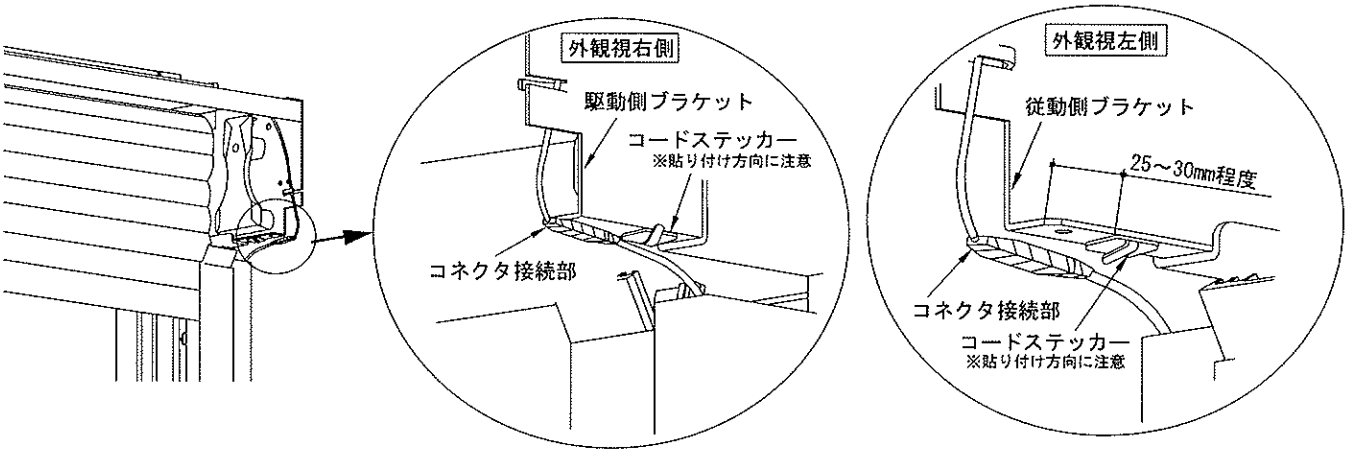
※防水テープはコネクタのツメ側から巻いてください。
逆から巻くとコネクタの接続部が外れやすくなります。
※防水テープを巻く時は、テープを張りながら巻いてください。
※防水テープは本体に同梱されております。



コネクタのツメが掛かっていることを確認ください。

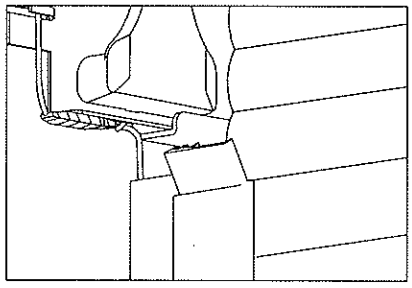
お願い 漏電やテープスイッチの誤作動等を防ぐため、防水テープは確実に巻いてください。

⑤付属のコードステッカーを左・右のブラケットに貼り付けます。
※コードステッカーはガイドレールに同梱されております。



上図の様にブラケットの端から25～30mm程度のところに付属のコードステッカーを貼り付けてください。
コードステッカーを貼り付ける際は、折り曲げ部を図の方向に向けてください。（折り曲げ部が内側）

⑥コードステッカーでガイドレール側配線を固定します。

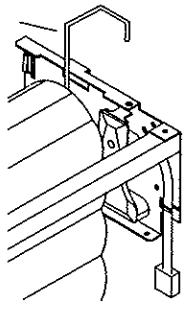


コードステッカーにコネクタ接続配線コードを挟み、固定してください。

コードステッカーから配線コードが抜けないようにしっかりと固定してください。

お願い コネクタ接続後、配線コードを固定しないと断線する恐れがあります。
必ずしっかりと固定してください。

回転防止ピン

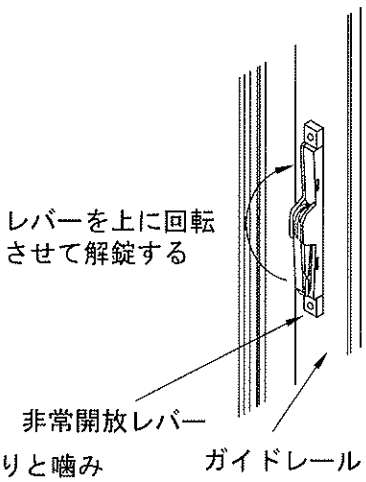


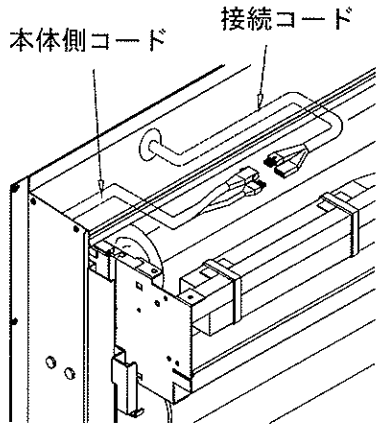
⑥ガイドレール取り付け終了後、回転防止ピンを抜いてください。

お願い 回転防止ピンはガイドレール取付け完了後に抜いてください。

手順６：接続コードと本体側のコネクタ接続及び結束バンドによる結束

非常開放レバーを解除して、手動でゆっくりとシャッターを下降させてコネクタを接続できる作業スペースを確保します。
本体側コードと接続コードのコネクタを接続してください。

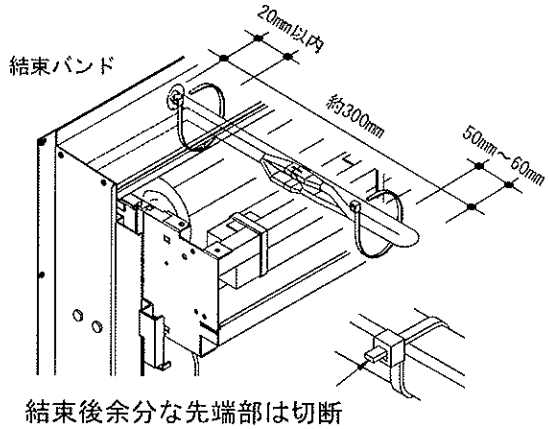




お願い コネクタのツメ部がしっかりと噛み合うように接続してください。

接続コードと本体側コードをまとめて付属の結束バンドにて右図の２箇所を結束します。
結束後、余分な結束バンドの先端部は切断してください。

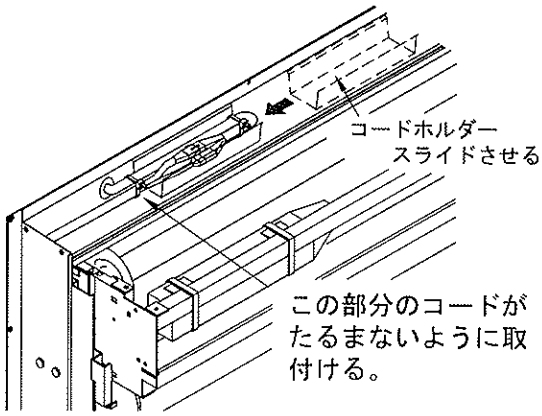
お願い 結束コードが躯体に入り込まぬようにしっかりと結束してください。



結束後余分な先端部は切断

手順７：コネクタ部分のコードホルダーへの格納

手順３で取付けておいたコードホルダーをスライドさせてコネクタ部分を納めます。



以上で本体の取付けが完了です。
本体取付完了の後に、シャッターボックスカバー、操作スイッチを取付けて仮設電源にて作動確認（初期設定）を行ってください。

※ボックスカバーの取付け方法はボックスカバー取付説明書（説明書番号MN-1423）を参照してください。
※作動確認（初期設定）の方法は、アルミ電動・スチール電動電気工事説明書（説明書番号MN-1428）を参照してください。